計算条件

支配方程式:線形長波理論(直交座標系)

空間格子間隔:1,350m 時間ステップ:1.0s 再現時間:3時間

波源モデル: USGS(Finite Fault Model)

 $\underline{http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/eqinthenews/2011/usc0001xgp/finite_fault.php}$

を Okada の方法により静的に与えた.

本来は破壊伝播速度、ライズタイムを考慮する必要がある.

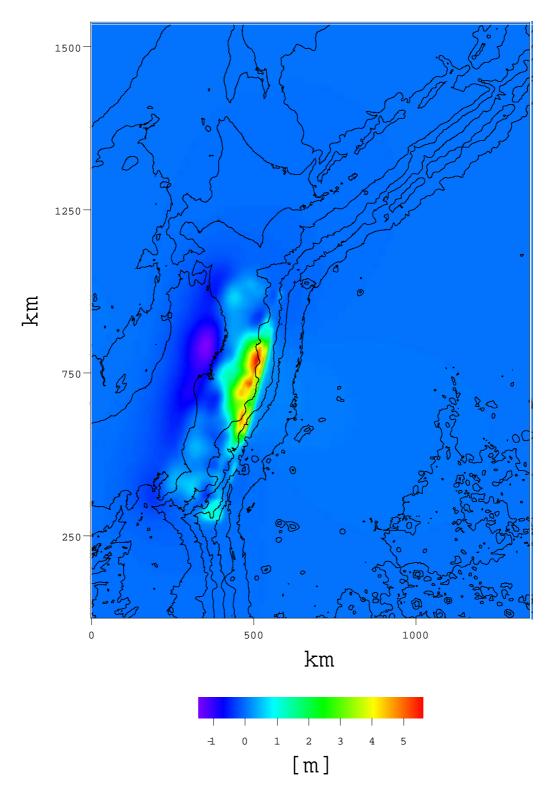


図. 初期水位分布

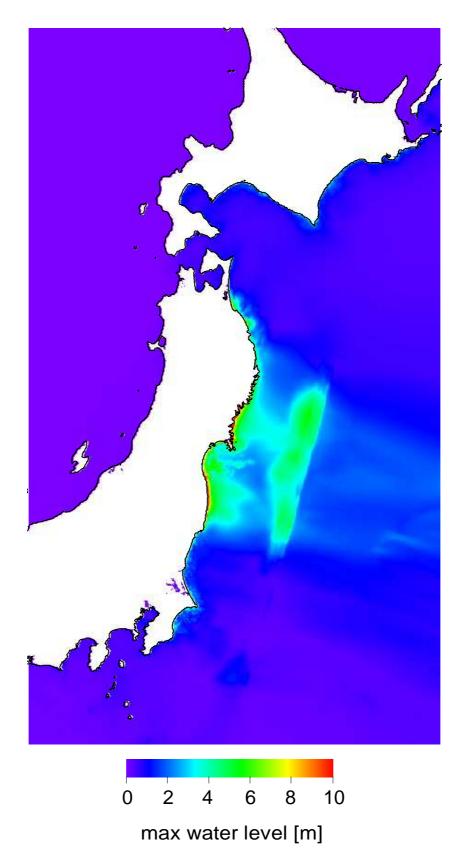


図. 最高水位分布